

平成25年度 五霞町社会福祉協議会事業報告

1. 法人運営事業

(1) 会務の運営

法人を支える事業として各事業を円滑に遂行することに努めた。
新会計基準に移行するための経理規程の策定をした。

① 会員の状況

会員の種類	金額	会費収入	会員数	前年度会費収入	前年度会員数
一般会員	600 円	1,181,400 円	1,969	1,195,200 円	1,992
特別会員	2,000 円以上	90,000 円	45	153,000 円	76
法人特別会員	10,000 円以上	0 円		0 円	
合計		1,271,400 円	2,014	1,348,200 円	2,068

世帯数	3,207 世帯 (広報ごか4月号平成25年4月1日現在)		
会員の加入率	61.4%		
組合外での加入世帯	33 戸 / 案内発送	432 世帯	
(前年度)	43 戸 /	454 世帯)	

② 会員サービス

「社協会員の呼びかけ」の広報媒体や社協役員会等にて、会員サービス事業をPRし、情報の提供を推進する。

会員サービスの種類	件数
新生児のオムツ配布	5 件
米寿のお祝い贈呈	10 件
福祉用具貸与	
ベッド 介護用品支給	1 件 (新規利用者)

③ 広報啓発

各種広報紙・ホームページを通して、情報の提供を行なう。

(ア) 広報紙

名称	発行月	発行回数	発行部数	主な配布先
社協だより	7月号・3月号	2回	1回 3,000部	全戸配布・組合外へ送付 町内公共施設
社協旬報	5月・7月・9月・11月・1月・3月	6回	1回 2,500部	全戸配布・組合外の会員へ送付 町内公共施設

(イ) ホームページの運営 URL : <http://www.goka-syakyo.or.jp/>
 累計 92,526 名 (前年度アクセス数 26,766 名) 平成18年3月 開設

アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
訪問者数	3,128	3,225	3,115	2,824	3,282	3,335	3,432	2,683	1,973	2,315	1,310	2,149	32,771	2,731

※ページごとの集計。トップページのカウンターとは異なる。

(2) 社会福祉協議会事業・活動

① 寝具類洗濯乾燥消毒サービス

利用状況

実施日	利用人数	実施枚数
平成25年 11月 5日	9名	27枚

② 訪問福祉美容

茨城県美容業生活衛生同業組合の協力を得て、年3回実施。
 1回 2,500円 (社協補助 1,000円)

実施日	利用人数	前年度利用人数
平成25年 7月	8名	4名
11月	8名	4名
平成26年 2月	11名	7名
延べ人数	27名	15名

③ ひとり暮らし高齢者等配食サービス

・配食利用登録者数 19名 (最大数) 配達協力会員数 3名

利用状況 (第2・4・水曜日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数 (名)	8	8	9	8	7	8	8	11	13	15	13	12	120	10
配達日数 (日)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2
配達総数 (食)	15	15	17	15	13	15	16	20	24	26	22	20	218	18.2

④ ひとり暮らし高齢者等給食サービス

- ・平成26年 3月 4日(火) 11:30~14:00 福祉センター内 喫茶
- ・参加人数 18名
- ・見守り協力員 民生委員児童委員協議会 4名参加
- ・事務局 3名

⑤ イベント・大会等の開催状況

名 称	開催日 (予定)	参加人員	備 考
健康福祉まつり	9月16日 (月・祝)	—	今年度は、台風18号の関東直撃のため、参加団体の協議によりやむなく中止となる。 (会議開催状況は、健康福祉まつり事業参照)

⑥ 各種活動

(ア) 入れ歯回収ボックスの状況

今年度回収	金 額	備 考
0 g 0 円	開始 (H19年11月) からの累計 136,120 円	福祉センター、役場へリサイクルボックスの設置 ・広報紙、ホームページ掲載、老人クラブ連合会等への呼びかけ活動

福祉センター・役場へ回収ボックスの設置。ある程度まとまってから回収。

(イ) ペットボトルキャップの回収活動

NPO法人エコキャップ推進協会からのエコキャップ受領書の内容

持ち込み日	回収個数
21年度	143,200 個
22年度	330,200 個
23年度	332,400 個
24年度	301,870 個
25年度	133,730 個 (311 Kg)
累 計	1,241,400 個 ワクチン 1524.8 人分 CO2削減 9,605.9 Kg

リサイクルボックス設置箇所

- ・21年度設置：福祉センター、役場、中央公民館、植竹商店
- ・22年度設置：セントラル産業、東昌寺
- ・24年度設置：B&G海洋センター

⑦ 理事会・評議員会・監事会等開催状況

理事会 5回、評議員会 3回、監事会 2回 開催

実施期日	会議名	事業概要（会議事項）	開催場所	出席者数
5.20	監事会	・平成24年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出決算の監査	福祉センター	2
5.28	理事会	・五霞町社協指定通所介護事業所運営規程の一部改正について ・平成24年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出決算の認定について	福祉センター	13 理事11 監事2
5.29	評議員会	・平成24年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出決算の承認について	福祉センター	24 評議員23 監事1
6.26	理事会	・社会福祉法人五霞町社会福祉協議会職員の給与の臨時特例に関する規程の制定について ・五霞町社協指定訪問介護事業所運営規程の一部改正について ・五霞町社協指定居宅介護事業所運営規程の一部改正について ・平成25年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出補正予算の認定について	福祉センター	10
6.28	評議員会	・平成25年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出補正予算の承認について	福祉センター	23
9.24	理事会	・社会福祉法人五霞町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について	福祉センター	10
11.15	監事会	・平成25年度一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出中間決算の監査の実施	福祉センター	2
H26				
1.24	理事会	・社会福祉法人五霞町社会福祉協議会経理規程の全部改正について	福祉センター	12
3.25	理事会	・社会福祉法人五霞町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について ・平成25年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出補正予算の認定について ・平成26年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業計画並びに一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出予算の認定について	福祉センター	11
3.26	評議員会	・平成25年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出補正予算の承認について ・平成26年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業計画並びに資金収支予算の承認について	福祉センター	28

⑧ 事務改善委員会

会議名	参加人数	回数	実施日			
事務改善委員会	職員 9 名	4	6月10日	7月1日	8月29日	10月3日
ワーキングチーム	職員 1 1 名	1	7月29日			

主な内容

福祉センターの運営・管理について
業務（事業関係）

- ・・・アンケートの活用、修理関係
- ・・・介護職員初任者研修の実施についての検討

など

2. 共同募金配分事業

毎年10月から12月の間に実施される共同募金、歳末たすけあい募金に寄せられた寄付金を社協活動で有効利用し、次のような事業を展開することにより地域福祉活動の充実強化に努めた。

(1) 老人福祉活動

- ・老人クラブ連合会主催スポーツ大会や老人大学の活動援助、老人クラブによる友愛訪問活動。
- ・ふれ愛ベンチ設置助成事業・・・2件4台設置 新幸谷行政区、山王行政区

(2) 障害者（児）福祉活動

- ・身体障害者福祉協議会並びに手をつなぐ父母の会の活動への助成及び健常者とのふれあい事業助成。

(3) 児童、青少年福祉活動

- ・子供会育成会並びに青少年相談員協議会の活動への助成。
- ・公園遊具整備事業・・・1件 山王行政区 遊具の修繕

(4) 福祉育成、援助活動

- ・地域住民のボランティア活動及びボランティア団体の育成援助
- ・民生委員児童委員協議会への活動支援や各種福祉研修の参加や受講
- ・低所得者及び高齢者等への対策として心配ごと相談及び法律相談の開催や、法外援護費や災害見舞金の支給及び小口資金や行人援護費用の貸付事業を実施
- ・社協広報紙や旬報の発行により、広く住民への福祉情報の提供を行う
- ・共同募金会五霞町支会の活動支援
- ・AEDの窓口設置（福祉センター「ひばりの里」窓口）

(5) ボランティア活動育成事業

小学校の生活科学習のニーズに応えられるよう、小・中学生対象の体験学習・講座の開催により、ボランティアに対するの関心や意識の向上、またボランティアを提供する側の対処方法を少年期から学ぶことができた。

- ①清掃指導（東小学校） 22名 平成24年 6月 6日（水）
- ②昔遊びの紹介（東小学校1年生） 13名 平成24年 9月27日（木）

(6) 歳末たすけあい募金配分事業

・各行政区の民生委員児童委員の調査・協力を頂き、町内の福祉対象者（支援を必要とする世帯、独居老人世帯、身体障害者等）へ歳末たすけあい見舞金の配分事業を実施。

共同募金	2,464,557 円（25年度実績、県共募からの配分は26年度）		(単位：円)
戸別募金	特別募金 232,000	学校募金 130,555	
	一般募金 1,157,800	職域募金 322,936	
街頭募金	10,720	イベント募金 15,000	
法人募金	559,000	その他募金（公共施設設置募金箱、預金利子） 36,546	

歳末たすけあい募金	1,065,770 円		(単位：円)
戸別募金	770,200	学校募金 5,567	
1円玉募金	165,631	職域募金 19,372	
法人募金（工業クラブ）	100,000	イベント募金 5,000	

歳末たすけあい配分見舞金	1,058,000 円（県共同募金会へ送金持越し額 7,770円）				(単位：円)		
配分先	件数	1件当り配分額	合計	配分先	件数	1件当り配分額	合計
ひとり暮らし高齢者	46名	7,000	322,000	母子世帯	11名	7,000	77,000
ねたきり高齢者	7名	7,000	49,000	父子世帯	0世帯	0	0
認知症高齢者	6名	7,000	42,000	交通遺児	0世帯	0	0
高齢者世帯	1世帯	7,000	7,000	支援を必要とする世帯			
在宅重度心身障がい者	31名	7,000	217,000	世帯割	12世帯	10,000	120,000
在宅重度心身障がい児	1名	7,000	7,000	人員割	15名	3,000	45,000
支援を必要とする児童生徒	19名	5,000	95,000	長期入院患者	11名	7,000	77,000

3. 老人大学運営事業

各講座や工場見学を通じて、学生の見識を高め、また学生同士の親睦を深めることが出来た。

7月の入学式から3月まで10講座を開催。

学生数53名・出席延べ人数381名・延べ出席率71.8%

日付	学習内容	講師・研修場所等	日付	学習テーマ	講師・研修場所等
7.2	入学式（第45回） 五霞町の現状について	五霞町長 染谷森雄先生	11.27 ～28	研修旅行	静岡県伊豆方面
8.7	節電といばらきの 自然エネルギーについて	茨城大学 島田敏先生	12.12	地元の産業経済 製造過程見学	茨城県守谷市 アサヒビール工場
9.6	交通安全教室 「交通安全講話」	境警察署交通課	H25.1.28	新年会 大きな声を出そう	
10.1	地域の歴史を考える 「機織り体験」	栃木県真岡市 木綿会館	2.6	地域の食の文化を探る 製造過程見学 (悪天候により中止)	埼玉県加須市 フジッコ関東工場
11.7	移動学習 製造過程見学	栃木県小山市 森永製菓小山工場	3.14	卒業式（第45回）	

4. ボランティア活動推進事業

5. 健康福祉まつり事業

綿密な計画のもと全体打合せ会議を実施した。さらに、実行委員会の組織のもと、内容等を検討し健康福祉まつりを開催した。内容的には、町内に拠点を置く各ボランティア団体に模擬店設営や各種体験コーナー、催し物やステージ出し物を実施した。事業効果としては、健康福祉まつりを通じ、ボランティア団体相互の交流、及び一般町民との交流を深め、町全体のボランティアへの意識の向上に寄与している点があげられる。

・開催日 平成24年9月17日（月・祝） ・参加団体 26団体 ・募金金額 416,837円

・会議の開催状況（各参加団体及び関係機関が参加しました。）

日付	会議名	主な協議事項
H24 7.10	ボランティア団体による 全体打ち合わせ会議	実行委員会の組織について 開催要項について 参加団体について 開催日程について
8.21	実行委員会	開催要項及び開催日程の確認について ステージ出し物について 各参加団体のコーナー設置について 各種確認事項（チラシ、ポスター等広報関係）
10.29	反省会	募金等の報告について 反省点について 募金の使いみちについて 材料費の支払いについて

会議での主な反省点・意見・その他

- ・中学生に各コーナーの運営や片付けに積極的に手伝っていただき大変助かった。
- ・スタンプラリーの景品増やして欲しい。 ・食物系のコーナーは盛況で短時間で完売になった。
- ・新規参加団体（打魂響心）の太鼓の演技で場内が活気づいた。
- ・来年度の開催時期についても、高齢者にできるだけ多く来てもらいたいので、原則、高齢者福祉大会の開催日に実施する。

- ・小中学校からは、運動会・体育祭実施日と重ならないようにと要望が出た。
(日程が重なると、中学生ボランティアが派遣できないので。)
- ・健康福祉まつり募金の使いみちですが、町との協議のもと、公民館玄関のスロープ整備のために充てられることとなった。
(1,500,000円)

6. 善意銀行運営事業

住民ボランティアの育成と社協の自主財源の確保により地域福祉活動の活性化に貢献できた。

(1) 善意銀行運営委員会の開催状況

日付	会議名	主な協議事項
H24 5.18	善意銀行運営委員会	①善意銀行金品受払状況について ②小口資金の貸出し状況について

(2) 活動状況

① 善意銀行／月別預託払出実績

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
預託件数	1	0	6	3	1	3	1	0	0	0	1	4	20
払出件数	0	1	5	1	0	1	1	0	1	0	1	4	15

② 小口資金の貸付状況 1人(1世帯)あたり30,000円～50,000円

23年度末貸付残高		24年度貸付額		返済額		24年度末貸付残高	
件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
15件 (15名)	555,000	6件 (6名)	240,000	10件 (10名)	239,000	15件 (15名)	556,000

7. 福祉用具貸与事業

介護保険の補完的役割として、緊急時にも素早い対応を心掛けた。

車椅子・ベッド・エアーマット利用状況

車椅子 ※社協会員は1ヶ月無料（新規）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸与件数	8	7	8	9	8	8	10	10	9	11	8	8	104
無料件数	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3

ベッド

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸与件数	14	13	12	12	13	13	14	13	13	13	13	11	154

エアーマット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸与件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

8. 生活福祉資金貸付事業

県社協からの委託事業である当事業の展開により、低所得者等の資金対象に該当する世帯に、当該借入の申込があった資金の貸付を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進等を図る。

今後も、町民の様々なニーズに応えられるよう、委託元の県社協と密に調整を図りながら、丁寧かつ迅速な対応に留意していきたい。

平成24年度の貸付決定に至った実績

- ・ 貸付総額 0 円
- ・ 利用件数 0 件

各月に生活福祉資金の借入相談を受けた件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸与件数	0	1	1	1	1	0	2	0	1	1	1	0	9

《主な相談内容》

- ・ 病気によるやむを得ない離職で新しい職に就くまでの生活費を要望→総合支援資金
- ・ 障がい者の方が義足の購入費用の調達で相談→福祉資金
- ・ 障がい者の方が入院費の助成で相談→福祉資金

※また、町社協独自の小口資金の利用が多数あった。 合計 6件
 厳しい経済情勢の中、生活困難世帯の方々からの利用が顕著であった。

[受託事業]

9. 地域ケアシステム推進事業

一人暮らしの高齢者や障害者、母子家庭等の方から、日常生活の中で困っていることや、悩んでいることの相談を受け、保健、医療、福祉関係者と連携して問題の解決に努める。必要であれば民生委員児童委員を中心に、近隣のボランティアの協力を得て在宅ケアチームを作り、みまもり等の支援を行う。年に数回、各行政区の民生委員児童委員と同行訪問するなどして、対象者の掘り起こしや啓発活動を行っている。

在宅ケアチーム数の状況 (単位：件)

区 分	24年度末	本年度増	本年度減	25年9月末
介護保険給付対象者	17	0	2	15
ひとり暮らし高齢者	48	1	1	48
その他の要援護高齢者	4	0	3	1
身体障害者	12	3	1	14
知的障害者	9	0	1	8
精神障害者	9	0	0	9
難病患者	1	0	0	1
子育て親	3	0	0	3
その他	8	1	2	7
計	111	5	10	106

相談件数 (実人数) 20 件
 会議

サービス調整会議 3 回 ケアチーム会議 5 回

研修

地域ケアシステムみまもり研修会	1	回	
地域啓発活動			
協力員だより「みまもり」	6	回	105部(1回)
五霞町保健・福祉事業のお知らせ	1	回	500部
みまもり研修会 参加者 10名	1	回	
民生委員児童委員同行訪問	54	回	
行政区長訪問 事業説明と協力 依頼	15	回	
いきいきサロン支援	11	回	

10. 福祉センター管理運営事業

町の地域福祉拠点としての役割を果たし、利用者の安全確保と施設の衛生管理に努めるとともに、地域の情報発信の場としての機能を担った。

また、平成24年9月25日より、地域活動支援センター「太陽の家」が就労訓練を兼ね、エントランスホールにて売店を開店させ、当施設の利用者から好評を得ております。

◎福祉センター活性化業務として、今年度も、施設の親しみある運営、社協事業の関心を深めて頂ける場を提供した。

- ① 7月 七夕飾り・・・ホールに七夕飾りを設置。来館者にも願い事を書いて頂いた。
- ② 8月 お神輿・・・ホールに納涼祭のお神輿を設置。季節感を出しつつ、納涼祭の宣伝となった。
- ③ 10月 共同募金・・・ホールに共同募金コーナーを設置。ポスターを掲示し、共同募金への理解と関心を深めて頂いた。
- ④ 12月 クリスマス・・・中庭にクリスマスのイルミネーションを設置。来館者・利用者へのよいプレゼントとなった。
- ⑤ 3月 ひな祭り・・・福祉センターホールに社協デイサービス所有の雛人形を飾った。

◎開館日数 228 日 2/18～3/19まで、排水管、給湯管の修繕工事のため休館といたしました。

浴槽・配管の塩素消毒	(毎週月曜日)	浴槽内洗浄(隔月1回)
館内定期清掃	(年2回)	避難訓練の実施、防火管理の徹底(2月実施)
普通救命講習会の実施	(来年度に延期)	
長期休館時の周囲の見回り	(年末年始)	

利用状況 個人来館者	30,118名	昨年比	68.4%	(平成24年度	44,045名)
団体利用件数	71件	昨年比	69.6%	(平成24年度	102件)

来館者数 (単位：名)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数(日)		25	27	26	26	27	22	26	17		22		10	228	
人数 (名)	町内	男性	1,299	2,015	1,878	1,797	1,759	1,369	1,870	879		1,205		400	14,471
		女性	1,029	1,482	1,457	1,360	1,334	976	1,395	704		892		355	10,984
		合計	2,328	3,497	3,335	3,157	3,093	2,345	3,265	1,583	0	2,097	0	755	25,455
町外	男性	734	296	249	219	253	175	221	71		672		175	3,065	
	女性	515	95	93	64	85	60	100	34		446		106	1,598	
	合計	1,249	391	342	283	338	235	321	105	0	1,118	0	281	4,663	
合計		3,577	3,888	3,677	3,440	3,431	2,580	3,586	1,688	0	3,215	0	1,036	30,118	

1日平均 132名

来館者のうち浴室利用者 (単位：名)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数(日)		25	27	26	26	27	22	26	17	0	22	0	10	228	
人数 (名)	町内	男性	1,281	1,981	1,841	1,762	1,734	1,330	1,823			1,155		384	13,291
		女性	892	1,396	1,338	1,344	1,246	908	1,310			807		283	9,524
		合計	2,173	3,377	3,179	3,106	2,980	2,238	3,133	0	0	1,962	0	667	22,815
町外	男性	724	292	233	115	252	159	217			672		175	2,839	
	女性	510	95	93	64	84	56	320			445		99	1,766	
	合計	1,234	387	326	179	336	215	537	0	0	1,117	0	274	4,605	
合計		3,407	3,764	3,505	3,285	3,316	2,453	3,670	0	0	3,079	0	941	27,420	

1日平均 120名

団体利用件数 (単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1・2	4	8	7	3	1	5				1		4	33
ホール	0	0	0	1	0	1				1		1	4
相談室	5	5	5	3	3	3				6		4	34
合計	9	13	12	7	4	9	0	0	0	8	0	9	71

老人クラブ利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クラブ数	10	12	12	11	12	10	11	14		12			104

人数	117	161	157	123	112	89	94	143		148		1,144
----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	-----	--	-----	--	-------

1.1. 在宅福祉サービスセンター事業

常に親身に対応し、利用者の立場に立ち、臨機応変にサービスを提供できるよう心掛けた。

また、今年度も関係機関との連携により利用者に有効なサービスを提供できた。今後も様々な福祉サービスと融合しながら利用会員との親密な信頼関係を築いていきたい。

利用状況一覧表

(単位：依頼件数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
通院介助	137	133	115	134	130	103	128	150	128	119	106	113	1,496	124.7
身の世話	24	23	26	23	17	27	16	20	39	19	19	17	270	22.5
園児送迎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
外出・買い物	79	83	65	70	54	68	68	57	63	65	55	75	802	66.8
合計	240	239	206	227	201	198	212	227	230	203	180	205	2,568	214.0

協力会員 14名 (男性 4名 女性 10名)
 利用会員 229名 (男性 57名 女性 172名)

※平成26年3月現在

1.2. 心配ごと相談事業

高齢者や生活支援世帯や障がい者を中心に住民から数々の相談が寄せられ、その内容は生計・職業・財産等、多方面の分野に渡っているが、各相談員の人生経験や学識経験により適切な指導を行った。

法律相談においては、土地問題や家庭・親族問題、財産・相続等の相談が持ちかけられ、弁護士の専門的知識により、それらの相談事例の解決に向けて的確な指導を行った。

(1) 心配ごと相談 月2回 (年25回実施)

第2、第4火曜日午後1時から午後4時開催 年間2回 (10月、3月) に全体会を実施。

相談員：4名

月別実績

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
件数	0	1	1	0	0	1	1	1	2	0	0	0	7	0.6

相談内容
生計 職業・生業 土地 件 家族 6件 財産

(2) 法律相談 月1回(年11回実施) 5月は、予約無しで、相談は実施していない。
毎月最終火曜日午前9時より開催 相談員：弁護士

月別実績 (単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
件数	2	3	2	3	3	1	0	4	1	3	5	0	27	2

相談内容
借金 2件 土地 2件 家庭・親族 1件 離婚 1件
相続 6件 人権・法律 5件 財産 4件 事故処理 1件
行政 件 苦情 3件 住宅 1件

1.3. 障害者移動支援事業

24年度より、通学に伴う移動支援も加わり事業内容も拡大してきた。

利用者の意思決定を重要視することにより外出する機会や自立した社会参加への意欲を持つことも出来、安定した日常生活に繋げることが出来た。

障がい者の方々が今後も、社会と繋がり、自立支援を目指すためにも、外出における移動支援を安全・安心に保ち続けるよう支援していく。

サービス向上のための研修及び勉強会 13回
研修 4回
ヘルパーミーティング 13回

利用人数

利用者延べ人数 26名 昨年比 123.8% (平成23年度 21名)
利用回数 430回 昨年比 201.9% (平成23年度 213回)

利用状況(延べ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者人数	3	3	3	2	1	2	2	2	2	2	2	2	26	2.2
利用回数	32	49	47	33	19	34	42	39	33	31	35	36	430	35.8

1.4. 地域活動支援センター事業

福祉の店「太陽の家」の売店活動及び福祉センター「ひばりの里」での掃除作業が定着したことから、就労意識が高まり、平成26年4月より就労移行施設へ利用者1名が移行することができた。これにより、就労に対する意識の変化につながり、施設見学等を通して本人だけでなく家族と共に就労を目的とした支援が増えた。

また、平成25年度より新たな試みとして「ナイスハートバザール」へ自社製品の出品販売を始めたことに、近隣施設との情報交換の場や施設間での交流が行えるようになった。

今後も発足2年目となる「太陽の家父母会」と連携し、地域に密着した活動も行っていきたい。

利用者 # 名

会議等

事業関連会議・研修 # 回 個人面談 11名

活動内容

口腔ケア	12回	誕生会	6回	ショッピング	1回	デイ納涼祭手伝い	2回
カラオケ	2回	遠足	1回	新年会	1回	節分会	1回
ひなまつり会	1回	施設見学	1回	ナイスハートバザール	2回		

境特別支援学校父母会視察来所、境町社協交流会来所、納涼祭・懇談会・作業参観、障害者福祉の集い、ふれあいまつり、クリスマス会、ナイスハートフェスティバル 各 1回

1.5. 日常生活自立支援事業

「銀行に行ってお金を下ろしたいけれど、自身がなくて誰かに相談したい。」「商品の勧誘の人が来たとき、どう対応したらいいか分からない」など毎日の暮らしのなかにはいろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。当事業は、このような場合に、日常生活における諸手続きや、金銭管理のお手伝いをして、障がい者等の方々が安心して暮らせるようにサポート致します。

県社協から基幹的社協に指定され4年になり、当事業は各関連事業と連携し、利用者の発掘や当事業への採用を実現させることができた。今後も、地域ケアシステムや地域包括支援センター等と連携を図りながら、当事業を有効活用に向けていきたい。

※現在の実利用者の方（3件）

A. 知的障害者を含む多数の生活問題を抱える家族

→ 日常的な金銭管理サービスと通帳管理（書類等預かりサービス）

- B. 精神障がい者（1人暮らし）
 - 日常的金銭管理サービスと通帳管理（書類等預かりサービス）
- C. 精神障がい者（1人暮らし）・・・平成24年3月に新規契約。
 - 日常的金銭管理サービスと通帳管理（書類等預かりサービス）

【 公益事業 】
【 介護保険事業 】

16. 指定居宅介護支援事業

町内の方を中心に地域に密着した事業所として、介護相談を継続し、気軽に相談ができる機会を設け、サービス利用に繋げることが増えてきた。管理者を中心に職員ミーティングを行い、連携の強化を図り、利用者が住み慣れた地域で生活できるように支援を行うことができた。

法令順守・介護支援専門員更新研修などに積極的に参加し、各介護支援専門員の資質向上にも努めた。

会 議

職員会議	50回	業務改善会議	2回
サービス調整会議	297回	事務改善委員会	3回
公益ミーティング	6回		

研 修

日本介護支援専門員協会 茨城支部研修会	1回	古河さしまケアマネジャー研究会研修	4回
介護サービス施設・事業所等管理者研修	1回	介護支援専門員 専門研修Ⅱ	1名
五霞町ケアマネジャー連絡会議	1回	介護支援専門員従事者基礎研修	1名
ターミナルケアについての研修会	1回	生活習慣病予防教室	1回
認知症疾患フォーラム	1回	社会福祉法人新会計基準についての勉強会	1回
茨城県社会福祉協議会職員連絡協議会県西支部研修会	1回		

その他

避難訓練	1回	普通救命講習	2名
介護相談	24回	(相談 6件)	

利用人数

利用者延べ人数 1,349 名 昨年比 119% (平成24年度 1,137名)
(平成23年度 957名)

利用状況 (延べ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要介護1	38	37	39	37	36	38	35	37	37	41	43	47	465	39
要介護2	28	34	36	37	38	35	41	42	41	40	37	36	445	37
要介護3	15	14	12	13	13	15	21	16	16	17	22	20	194	16
要介護4	10	13	9	12	11	13	19	20	20	15	17	13	172	14
要介護5	7	6	9	7	6	8	6	5	5	5	5	4	73	6
合計	98	104	105	106	104	109	122	120	119	118	124	120	1,349	112

17. 指定訪問介護事業

訪問サービス利用者のニーズに応えられるよう、介護保険福祉計画に基づき、訪問体制の強化を重視させ、支援困難なケースへの積極的な対応を目指した。福祉センターのホールにポスターなどで事業内容のPRしてきたことを今後も継続していく。

技術・知識のスキルの強化を図るために、事業所内研修を充実させ、さまざまな状態の方にも対応できるように心掛けた。継続している誕生日プレゼントは利用者に大変好評であったため今後も継続していく。

今後もスタッフ一同「元気に・明るく・笑顔で」をキャッチフレーズに地域に密着した事業所を構築していく。

サービス向上のための研修及び勉強会 12 回

H24. 5. 19	ホームヘルパーの接遇マナー	12. 2	記録の書き方とコミュニケーションについて
6. 21	認知症について	1. 28	身体マニュアル移動移乗介助・外出支援について
7. 2	食中毒マニュアルより食中毒について	2. 7	ヒヤリハットとプライバシー保護の取り扱い
8. 21	事故発生時の対応について	2. 16	感染症について・口腔ケアについて
9. 29	清拭とおむつ交換について	2. 16	倫理とヘルパー業務について
10. 11	入浴介助のしかたについて		
10. 21	知っておきたい医療の知識便秘について・簡単美味しい介護食レシピ		

研修 4 回

5. 29	管理者研修と認知症について	7. 17、23	サービス提供責任者研修
6. 20	茨城県訪問介護員中央研修	12. 9	身の回りの介助 (入浴・清拭・着替えの介助)

ヘルパーミーティング 12回 事前調査及び契約 13回
 ケアカンファレンス 8回 新規利用者及び更新利用者ケア会議 13回
 サービス担当者会議等 18回

その他
 福祉センター避難訓練 1回

利用人数
 利用者延べ人数 168名 昨年比 94.4% (平成23年度 178名)

利用状況 (延べ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	3	4	4	3	3	5	5	5	5	5	5	6	53	4
要支援2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	17	1
要介護1	3	2	2	3	3	4	4	4	5	5	4	4	43	4
要介護2	1	2	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1	16	1
要介護3	2	2	2	1	1	2	2	2	2	3	2	3	24	2
要介護4	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	5	0
要介護5	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	1
合計	11	12	13	12	12	15	15	15	16	16	15	16	168	14

18. 指定通所介護事業

昨年度に比べ利用人数が徐々に増えてきたが、体調不良等によりお休みもあり、思うように実績が伸びてはいないが、現状を維持している。

室内でのレクリエーション等を強化し、作り物等の新しいことも行うことができた。

今後も利用者の要望を反映し、従事者一人ひとりが同じ目標にそって行動が行えるよう、綿密な計画やコミュニケーションを図ることができるよう対応していく。また、ボランティア等の受入や外出行事も増やしていき、楽しんでもらえるよう企画する。

行事

誕生会 36回 ショッピング 16回 食事会 36回
 お花見 5回 バラ見学 7回 おやつ作り 2回
 運動会 6回 おやつセレクト 18回 彼岸花見学 4回
 納涼祭・敬老会・クリスマス会 各 3回 アロマセラピー 12回 スコップ三味線 1回

活 動

リハビリ 毎週火・木・金曜日 入浴デイ（振替利用） 1回

作り物（利用者作成）

小物入れ、メガネ立て、お菓子入れ、三段タンス、絵馬、干支キーホルダー、お雛様、お花、カレンダー
うちわ、七夕飾り、爪楊枝入れ、クリスマスリース

レクリエーション

的当て、輪投げ、積立ゲーム、マネーゲーム、カルタ、絵合わせ、言葉作り、なぞなぞ、折り紙、トランプ、将棋
習字、ビンゴ、モンスターボックス、玉入れ、カラオケ、すごろく、ちぎり絵、ボーリング、風船うちわ、じゃんけん合戦
詰め放題、風船バレー、ボール送り、わか回し、脳トレ、神経衰弱、間違い探し、クイズ、靴飛ばし、どきどきプーさん
計算、リズム体操、くじ引き、棒倒し、お料理ジャンケン、ゴミ箱作り、時間当てゲーム、伝言ゲーム

ボランティア受け入れ

地域ボランティア	6名	13回	出し物ボランティア	2名	2回
介護等体験研修	1名	5回	学生ボランティア	2名	8回
五霞中学校職場体験	1名	1回			

研 修

事前調査（新規）	22件	事前調査（状態確認）	2件	給食会議	12回
サービス担当者会議	75回	サービス向上の為の研修	37回	普通救命講習	1回
避難訓練	1回				

ミーティング（利用者の情報交換や対策、職員の情報伝達）…デイサービス実施日毎日（16：50～17：10）

利用人数

利用者延べ人数 4,971名 昨年比 113.5% （平成24年度 4,378名）
（平成23年度 3,606名）

利用状況（延べ人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	16	13	12	14	8	8	8	7	6	6	15	17	130	10.8
要支援2	96	73	77	97	101	67	77	65	53	44	40	38	828	69.0
要介護1	135	122	129	123	150	124	134	128	122	131	128	151	1,577	131.4
要介護2	76	93	107	119	101	95	114	116	107	116	95	110	1,249	104.1
要介護3	47	48	34	35	33	34	43	20	18	19	16	18	365	30.4
要介護4	36	35	35	46	55	46	72	68	65	64	45	49	616	51.3

要介護5	7	7	8	32	22	17	25	19	22	19	16	12	206	17.2
合計	413	391	402	466	470	391	473	423	393	399	355	395	4,971	414.3

19. 地域包括支援センター事業

支援が必要な対象者（要支援1・2）にはケアプランを作成し、心身機能の改善や環境調整などを通じて要介護状態にならないよう関連機関と連携をとりながら自立を支援した。

地域ケアシステム推進事業や各種関係機関との連携をとり情報の共有化を図り、高齢者や家族が地域において尊厳ある生活が送れるよう支援した。

一般高齢者には基本チェックリストによる実態把握調査をおこない、定期的な運動やコミュニケーションを通じて、在宅で自立した生活を営んでいただくことを目的に、一次予防事業では「元気はつらつ倶楽部」、二次予防事業では「元気あっぷ教室」「ぴんしゃん教室」をはじめとした介護予防事業を展開した。

また、知識及び技術の向上に努め各種研修に参加し、警察や市町村等と連携しながらオレオレ詐欺・送り付け商法等の悪徳商法被害防止に努めた。

会 議

五霞町高齢者虐待ネットワーク運営委員会	1回	地域ケアシステム推進事業と合同ミーティング	12回
地域ケアシステム サービス調整会議	3回	職員会議	9回
五霞町保健師情報交換会議	3回	法テラス県西連絡協議会	1回
五霞町ケアマネジャー連絡会議	1回	認知症疾患連携協議会	5回
地域包括支援センター運営協議会	1回	茨城県地域包括支援センター連絡会議	1回
五霞町保健師情報交換会議	3回	公益事業ミーティング	6回
シルバーリハビリ体操指導士会会議	5回		

研 修

シルバーリハビリ体操普及講習会	1回	古河さしまケアマネジャー研究会研修	2回
地域包括支援センター職員（現任者）研修	1回	認知症介護アドバイザー養成研修	2名
認定調査現任研修	1回	マイクロソフト ワード実務活用研修	1回
シルバーリハビリ体操士会特別講習会	1回	労働災害防止のための安全衛生研修会	1回
シルバーリハビリ体操士3級養成研修（講師）	1回	境・五霞 人権教育研修会	1回
介護予防事業評価手法に関する研修会	1回	住宅改修研修会	1回
地域ケア会議運営に係る実務者研修	1回	成年後見人制度研修	1回
市町村保健師研修会	2回	社会福祉法人管理代表者研修	1回
市町村介護予防事業担当者研修会	1回	救急救命講習会	1回
法制執務研修	1回		

その他

避難訓練

1回

介護予防ケアマネジメント事業

利用人数

利用者延べ人数 610名

} サービス利用についてのサービス担当者会議 } 104回

利用状況(延べ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	24	23	23	23	22	20	20	18	18	18	19	20	248	21
要支援2	33	31	31	35	36	32	30	28	29	26	25	26	362	30
合計	57	54	54	58	58	52	50	46	47	44	44	46	610	51

二次予防事業対象者把握事業

7行政区(山王山、山王、江川、幸主、冬木、両新田、原宿台)の高齢者(65歳以上)に基本チェックリストを郵送・回収し、二次予防事業対象者を抽出(介護認定者は除く)

配布者数 889名
 回収者数 742名 } 計 889名
 訪問や電話等で確認 147名 }
 回収+確認率 100%

二次予防事業

対象者数(実人数) 188名
対象者数(延べ人数) 435名

内訳(重複あり)
 運動器の機能向上 111名
 栄養改善 5名
 口腔機能の向上 107名
 閉じこもり予防・支援 34名
 認知機能の低下予防・支援 95名
 うつ予防・支援 83名

通所介護予防事業

参加者数(実人数) 22名
参加者数(延べ人数) 26名

内訳(重複あり)
 運動機能向上「元気あっぷ教室」 9~11月 6回 8名
 12~2月 6回 8名
 栄養改善、口腔機能向上、認知症・閉じこもり・うつ予防「ぴんしゃん教室」 9~2月 14回 10名

一次予防事業

元気はつらつ倶楽部(元栗橋・土与部・堀之内・新幸谷・川妻・小手指・小福田・大福田)
 184回 1396名(延べ人数) 140名(実人数)
 ぽかぽか茶の間(5・12月) 2回

広報

社協旬報（4・6・8・10・12・2月号） 6回 社協だより（7・3月号） 2回
「毎日鍛えて心と体の若さを保とう」ポスター全戸配布 1回 地域ケア協力員だより「みまもり」 2回

任意事業

家族介護教室 12月9日 1回 40名（実人数）

〔障害者自立支援事業〕

20. 居宅介護事業

これからの社会に多様化するニーズを把握し、必要な時に適切なサービス提供が出来るよう支援体制の構築に努めた。今後も利用者の意思を尊重し、生活環境や身体機能の維持、改善、低下防止に向けサポートすると共に事業啓発に努める。

サービス向上のための研修及び勉強会 12回 ケアカンファレンス 1回
研修 4回 ヘルパーミーティング 13回

利用人数

利用者延べ人数 15名 昨年比 68.2%（平成23年度 22名）
利用回数 431回 昨年比 143.7%（平成23年度 300回）

利用状況（延べ人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者人数	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	1
利用回数	51	54	49	33	37	30	31	34	28	28	28	28	431	36

〔自主事業〕

21. あったかサービス事業

高齢者や障がいのある方々が安心して、住み慣れた家庭や地域で生き生きとした生活が出来るよう、今後も介護保険では補えない部分の補完的役割に努めるよう支援すると共に啓発活動に努める。

会議

サービス向上のための研修及び勉強会 12回 ケアカンファレンス 1回
ヘルパーミーティング 13回

利用人数

利用者延べ人数 12名 昨年比 80.0% (平成23年度 15名)
利用回数 92回 昨年比 58.2% (平成23年度 158回)

利用状況 (延べ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
利用回数	8	7	8	9	9	8	2	9	8	8	8	8	92	8